



那覇市 令和4年度コロナ対応まちづくり協働力アップ事業

# 石嶺小学校区地域円卓会議

## 実施報告書

日 時： 2023年2月4日(土)14:30-17:10  
場 所： 那覇市石嶺公民館 2階ホール（那覇市首里石嶺町2丁目70-9）  
共 催： 石嶺小学校区まちづくり協議会、那覇市まちづくり協働推進課  
企画運営： NPO 法人まちなか研究所わくわく  
協 力： 公益財団法人みらいファンド沖縄

報告書作成  
NPO 法人まちなか研究所わくわく  
公益財団法人みらいファンド沖縄

## 【報告】石嶺小学校区地域円卓会議



■日 時：2023年2月4日(土)14:30-17:10

■場 所：那覇市石嶺公民館 2階ホール  
(那覇市首里石嶺町2丁目70-9)

■着席者数：8名(論点提供者、司会、記録者含む)

■参加者数：83名(首里石嶺町住民、校区まち協、自治会、行政、社協、地域包括支援センター、企業等)

■共 催：石嶺小学校区まちづくり協議会、  
那覇市まちづくり協働推進課

■企画運営：NPO法人まちなか研究所わくわく

■協 力：公益財団法人みらいファンド沖縄

### 論点提供 玉那覇 善秀 氏 (石嶺小学校区まちづくり協議会 会長)

#### 石嶺小学校区における高齢者の孤立問題とコミュニティのあり方を考える

那覇市石嶺小学校区は、石嶺町3丁目の一部と4丁目からなる人口約1.2万人の地域です。今回の円卓会議では、石嶺小学校区内の高齢者の生活上の困難や孤立等の現状にふれ、今あるサロンや見守り等の活動を共有し、問題が見えていない現状も踏まえながら、石嶺小学校区において安心して暮らし続けることのできるコミュニティのあり方について考えます。

#### センターメンバー



玉那覇 善秀  
石嶺小学校区  
まちづくり協議会  
会長



桃原 千佳  
那覇市地域包括  
支援センター石嶺  
センター長



末吉 ヒサ子  
首里石嶺ハイッ  
自治会  
会長



野原 祐樹  
那覇市  
社会福祉協議会  
地域福祉課



宮元 聡志  
イチフジ株式会社  
代表



櫻井 常矢  
高崎経済大学  
地域政策学部  
教授

## ➤ 円卓会議に参加いただいた皆さまから（板書の記録を元に作成）

### 事実の提供

- 石嶺小学校区まちづくり協議会（以下、石嶺まち協）
  - 2011年7月設立、設立12年目となる
  - 「みんなでつくろう いきいきいしんみ」をスローガンに、5つの部会（福祉部、環境部、商工部、子ども育成部、広報部）をもつ
- 石嶺小学校区の概況
  - 石嶺小学校区（石嶺3・4丁目）の人口12,827人、4,796世帯、65歳以上の単独世帯470世帯（令和2年国勢調査より）
  - 自治会は4つ（首里石嶺ハイツ自治会、たんぼぼ通り自治会、石嶺みのり自治会、石嶺団地自治会）があるが、自治会がない空白地帯もある
- 石嶺小学校区の高齢者を取り巻く状況
  - 自動車免許返納に伴う買い物・通院の不便
  - 認知症による道迷いや詐欺被害
  - 自治会のない地域の状況が見えない
  - 戸建て住宅での高齢独居・高齢夫婦世帯の増加
- 地域包括支援センター石嶺（以下、包括石嶺）の高齢者支援の取り組み
  - 月に1回、地域包括支援センター（石嶺、城西、大名、松川）と首里交番長との状況共有会議があり連携をとっている
  - 詩吟サークルやさわやか体操等5つのサークル活動がある
  - 毎月第3日曜日に認知症カフェを行っている
- 包括石嶺では、銀行とも連携をとっている。様子が気になる方が銀行窓口に来た際、包括石嶺に連絡が入る。実態把握として気になる方の自宅に訪問も行う
- 包括石嶺の圏域（石嶺2・3・4丁目）の概況
  - 人口は18,753人である。高齢者は4,904人、高齢化率は26.1%（2022年4月現在）。那覇市全体の高齢化率24.2%より高くなっている
  - 介護認定者数は、944人。高齢者数のうち介護認定者数の割合は19.2%（那覇市20.5%）となっている（2022年4月現在）
  - 介護認定者数に占める認知症高齢者の割合は高く、自立度Ⅱ以上の割合は63.5%（那覇市56.9%）となっている（令和4年4月現在）。特養施設が2か所あることが関係していると考えられる
- コロナ禍で通っていたサークルが閉まるなどの状況が2、3年続いたため、筋力の低下等で介護認定を受ける方が増えてきている
- 包括石嶺として気になる方を訪問する際、関わりを拒否される場合もある。無理に介入し完全拒否されると今後の関わり方が難しくなるため柔軟な対応を行っている
- 石嶺小学校区には、石嶺団地自治会地域見守り隊と首里石嶺ハイツ自治会地域見守り隊がある
- 石嶺団地自治会地域見守り隊では、自治会費の集金時に見守りを実施。第4火曜日の夜に会議を行っている。会議には包括石嶺やオリブ山病院も参加し情報共有を行っている
- 首里石嶺ハイツ自治会地域見守り隊が訪問する家庭には、80歳以上の方がいる家庭が43件ある。毎月第2水曜と木曜に分けて訪問見守りを行っている。第2木曜日11時から見守り会議を行っており、那覇市社会福祉協議会（以下、那覇市社協）、包括石嶺も会議に参加している。免許返納の方やひとりで買い物に行っている方などについて情報共有を行っている
- 首里石嶺ハイツ自治会には、1人暮らしの高齢者が数名いる。見守隊から新聞がたまっている等の報告があると自治会として、包括石嶺に状況を伝え、自宅訪問等も行っている。ご家族と連絡を取り合うこともある
- 首里石嶺ハイツ自治会では、包括石嶺ができる前から、オリブ山病院の方が集会場に来て勉強会や講演会等を行っていた。病院から一番近い自治会として積極的な関わりを持っていただいた
- 那覇市社協では、那覇市社協のデイサービスの車両を活用し、高齢者の外出支援「おたがいさま移動支援モデル事業 石嶺ハイツ自治会チャレード号」を首里石嶺ハイツ自治会と共に実施（2021年10月27日～12月22日毎週水曜日11:00出発（計9回））。利用者からは「みんなとお喋りして買い物できて楽しい」「家族に気兼ねなく買い物がしたい」「集まりが1番、買い物は2番」などの声があった
- 2017年1月、石嶺1丁目において住民主体で活動を行う、ふれあい・いきいきサロン「ペントス花の会」が結成。月に1回、会の代表者宅に地域の方が集いユンタクを行っている。自宅に来れなかった方の訪問見守りや石嶺駅でのウォーキング、ラジオ体操なども行なっている。ウォーキングは、会の代表者が家の前を歩く方がいることに気づき「一緒に歩きませんか？」と誘ったことがきっかけ
- 本土の事業所からグループホーム、ケアハウスで使用するための賃貸物件に関する問合せが増えている。石嶺地域で物件を探す事業者もいるが、グループホーム、ケアハウスの要件に合うような物件がない
- 全国にまちづくり協議会（以下、まち協）は6,500程あり、数は年々増えている

## 視点の提供

- 自宅から歩いて行ける距離に高齢者が集う少人数のサークルなどあれば自分で通うこともできるが、自宅から離れた場所にしかない場合、送迎のある介護保険を利用することになる
- 「自由に選ぶ孤独」と「なってしまう孤立」があるのでは
- 日本では人口減少が進んでいる。地域の力が落ちていくなかで「補う」「補完する」ことがまち協の重要な考え
- 那覇市は市民独自の活動が多いが、それぞれがつながっていない。全体をながめる役目が必要であり、まち協の役割のひとつではないか。地域全体として、地域の課題にどれくらい取り組んでいるのか、できてない点は何か等弱点を補うのがまち協の役割
- 暮らしを支える、地域の課題を解決するためにまち協がある
- 地域の課題の捉え方を丁寧にしていくべき。課題を整理する前に、地域の中でがんばっていること、努力していることを探すことが大事。民生委員の高齢者の見守りや地域の方による子どもたちの通学時の見守り等、地域の中にある努力を丁寧にあぶりだし、がんばっている人たちを讃える。そこから本当の課題が見えてくるはず。がんばっていることや努力していることを見える化していくことが大事
- 地域課題に対して、地域が果たす役割と専門職、行政が果たす役割ある。地域の住民としてでできることは何か、住民だからできることを市民として追及していく、役割を分担していく。ただ全体が見えていないと役割分担できない
- 人とのつながりは声かけ、挨拶が基本、大切
- 石嶺小学校区では、高齢者を支える様々な取り組みがあるが、孤立している方には届いていないのではないか
- 現状は元気で地域とのつながりを望んでいない方に対しても、今後つながりが必要になるかもしれないため、関わりを持つべきではないか。曖昧さ、ゆるさをもったコミュニティがあるとよい
- 孤立されている方に、現時点で関わりを拒否されても、高齢になると手助けが必要になってくる。必要になったときに関わるのではなく、それまでに関係性はあった方がよい
- 包括には家族からの相談が多い。もっと早く相談した方がよかったと話す家族もいるが「今このタイミングに相談にいらっしゃってよかった」と家族の労をねぎらうことを心がけている。そして一緒に当事者を支援していく
- 包括では、身寄りのいない高齢者の方がいても、どうにか支援者を探す
- 石嶺4丁目の自治会空白地帯などは戸建てが多い地域。戸建てにお住まいの方が孤立している場合、まずはイベント等から少しずつ関わることができないのではないか
- 自分自身で問題を解決しようすると力んでしまうが、できることとできないことがある。自分たちでやれることを追及することでよいのでは。そして、高齢者の孤立の問題が起きたときは、社協や包括等の専門家とつながる

## 評価の提供

- 石嶺小学校区には、いきいきサロンや認知症カフェ、地域見守り隊等があり、誇りに思っている取り組みである
- 石嶺まち協が作成した福祉マップを参考にしている校区まち協がいる

## ➤ 今後のアプローチの方向性（提案）

- 1) **地域での評価**: 石嶺小学校区内における高齢者支援の取り組みについて共有し、地域で評価していくことは大事
- 2) **コミュニティの可視化**: 「コミュニティ」のカチは、「近くに住む人同士の『近所』のコミュニティ」や「共通の問題解決に向けた『志』のコミュニティ」、「PTAなどの同じ『属性』によるコミュニティ」、「同じ趣味でつながるコミュニティ」など多様にある。石嶺小学校区内の大小様々な「コミュニティ」を可視化していくことから取り組む
- 3) **役割を見直し変えていく**: まちは変化し続けるので、地域団体等も自らの状況を評価し役割を変えていく。さらに校区内外の新しい資源とつながり続ける曖昧な弾力性を持つことがまちにとって大切

## ■参加者によるサブセッション

### 石嶺小学校区における高齢者の孤立問題と コミュニティのあり方を考える

(参加者記載の原文をそのまま記載している為、事実と異なることがあります。グループ毎に①、②・・・と記載)

#### ①

- ・ 声かけ、TELして
- ・ 文書を出したい
- ・ コーディネートの力
- ・ 独居の母 孤立
- ・ 自治会さん
- ・ ICF
- ・ 地域
- ・ 再開
- ・ すいしん
- ・ 体操
- ・ 見える化
- ・ 情報がある
- ・ 周知紙
- ・ 意識していない＝孤立
- ・ 人から聞く方が落としている
- ・ 人とのつながり大事
- ・ 市営住宅課
- ・ 被害妄想（認知）
- ・ どのキカンを知らない
- ・ 一方あった場合は地域包括支援センターを紹介

#### ②

- ・ 石嶺何があるの？
- ・ 取り組みが十分であるか
- ・ いかに伝えるか、大事である
- ・ 取り組みは良い。共通の課題も
- ・ 団地の地理的な問題
- ・ 目に見えている課題がある
- ・ サークル等に周知されていない
- ・ まちづくり 教育
- ・ 防災の取り組みが違う

- ・ 見守りしている人しかわからない
- ・ まち協とは関係ではないか
- ・ 第3土曜日パーラ公民館を移動図書館
- ・ コミュニティとしてのぞんでいないかも
- ・ つなぐことが大切ですのであいまいさをもった暖かさをもったところが良い

#### ③

- ・ 石嶺の動き分かった
- ・ 個人として、企業としてできること広げたい。専門的
- ・ 自由＝孤独も大事
- ・ ハイツ住人 役割
- ・ 連携つながり大事
- ・ 法人の中でも
- ・ 事例研究
- ・ 独居＝医療
- ・ 元の場所に帰れなくなる
- ・ 周りが支えるしくみ。帰れるように
- ・ 難しいケースもある
- ・ 見えない地域
- ・ 会う人は会う
- ・ 来ない人は来ない
- ・ 孤立の始まり。孤独とはちがう
- ・ 自由だけど把握したい
- ・ 子供を利用する
- ・ 企業を利用する
- ・ アパート少ない
- ・ 個人で持っているのが多い
- ・ 元々石嶺の人しかいない
- ・ 人が孤独になっている？
- ・ 何でつながるのか？
- ・ 情報

- ・ 青少協
  - ・ 子ども食堂
  - ・ 大人食堂
  - ・ 子どもの世話する
  - ・ ウーバーキッズ
  - ・ ムーチャーづくり
  - ・ いっしょにつくる
  
  - ・ 石嶺 公民館
  - ・ しかけ何かやっている
  - ・ 子ども季節ごと
  - ・ 高齢者の把握
  - ・ 地域連携
  - ・ 立証
  - ・ まち協清掃
  - ・ 元気になる
  - ・ 仕事
  - ・ パーソナルアドバイザー
  - ・ 役割
  - ・ コンセルジュ
  - ・ パパイヤ
  - ・ 元気にするのが仕事
  
  - ・ つながり
  - ・ 声かけ
  - ・ あいさつ
  - ・ 基本
  - ・ 病院
  - ・ 社協
  - ・ 他まち協
  - ・ 日記、地域活動
  - ・ 石嶺努力している
  - ・ 孤立している人には届かない
  - ・ 情報、コーディネート
  - ・ 望んでない人にはリーチするべきか
  - ・ リーチするべき
  - ・ あいまいはゆるく
- ④
- ・ たんぼぼ通りには公民館がある。踊ったり、体を動かす→仲間づくり
  - ・ 自分でジムに行ったり→自己責任
  - ・ 婦人部→若い人によって女性部→ボランティアする場所→発信したが→まち協でできれば
  - ・ 愛護会で畑でゴーヤー、じゃがいも、独居老人に子どもボラに届ける→アパートが増加→自治会未加入
  - ・ 転勤族
  - ・ 自治会の役割
- ⑤
- ・ 街がきたない
  - ・ 草ぼうぼうしている。ごみが多い
  - ・ 石嶺が激戦地であった事が知らなかった
  - ・ 石嶺の状況がわからなかった
  - ・ 地域を清掃して地域の方とつながっている
  - ・ 石嶺に旗頭を作った。青少年のゆめを与えるよう
  - ・ 新聞でみて参加した
  - ・ 西原の坂田は高齢者 29%
  - ・ 自治会の加入者が少ない
- ⑥
- ・ 活動をする際のサポート役の高齢化  
→後進の育成がすすんでいない  
公園など場所の共有で顔見知りを作って  
いくことで代かわりの素地を作る
  - ・ 自治会活動が活発でないところや空白地帯の様子、組織化にも何かできないか？
  - ・ 地域、自治会、行政ももっと交流することでつながっていけないか？（花木の植えかえなど身近なものをつかって活性化をはかる）
- ⑦
- ・ 親子の関係性も多様。子のいう事は親はきかない

- ・ 突然くる。自分の親の介護
- ・ 「こりつ」しないきっかけって…
- ・ 家族が「こりつ」しないように→働いている職場で介護や育児などについての勉強会みたいにしてくれたらいいのにな…つながる仕組みのきっかけになれるかな…

⑧

- ・ いろんな取り組みが成功されている
- ・ 電気が通っていない家で生活している
- ・ お金が入っても散財してしまう
- ・ 本人は困っていない
- ・ 「生きる力」は持っている
- ・ 医療拒否する人
- ・ 介護拒否する人→そえんになった家族をつなげる。一人つかまえるとつながっていく。家族を支援する方法（支え）家族がつぶれてしまうと、本人を支えられない

⑨

- ・ 自治会ない地域＝情報がない←自分で石嶺公民館へ
- ・ 距離がある
- ・ 4丁目広すぎる！？
- ・ 入居時期同じ。近い課題
- ・ 急激に増えた
- ・ 加入率
- ・ 入ったけどわからない
- ・ 人集めるのがたいへん
- ・ 月2回体操界20名

⑩

- ・ 自治会が少ないことにおどろいた
- ・ 自治会を新たに作ることはハードルが高いけど、いろんなところに集まれる場所があればいいな！
- ・ 民生委員、児童委員の確保
- ・ こじんまりとした集まり、広場とかあれば人が集まるのではないかな

- ・ 孤立の情報がないと見守りもむずかしい
- ・ 近所の小さい単位なら受け入れる人もいる（ふだん外にでない人）

⑪

- ・ 町がきたない（草ぼうぼう）、草刈り作業を行っているうちに、人との付き合いが出来る様になった
- ・ 石嶺駅の東西広場の草刈り作業を行っている
- ・ 46年前に石嶺に移って来て、石嶺に夢を青少年に旗頭をと、地域活動が広がっている。コミュニティが出来る
- ・ タモト
- ・ 坂田は高齢者が60%である
- ・ 理事会の空白をどの様になくすか？
- ・ 石嶺ハイツ自治会が加入率100%とは、差はどの様なのか
- ・ 自治会の役割をどの様な見方をしているか
- ・ 若いスタッフ西原に帰って報告する
- ・ 前は自治会活動を行っていたが、子供が大きくなったら、だんだん自治会活動が少なくなっている
- ・ 今は外灯代しか集金していない。自治会費は集めていない
- ・ 自治会と通り会の違い

⑫

- ・ 郵便局とのコラボ
- ・ 新聞、配送関連+ライフラインとの連携
- ・ 民間→役所へ連絡、それ以外は…
- ・ 民生員不足
- ・ スーパー、コンビニでIT活用。カードやマイナンバーを！

⑬

- ・ 4つの自治会→自治会がないところ、そこで活躍している人、動きはどうなってるかわからない
- ・ 自治会との関わり→「ない地域」気づかない

- ・ 「介護」を意識する世代—「子育て」する世代
- ・ よその地域から集まってきた人たち→だからこそその結びつきが強い
- ・ 自治会を通し絵、地域の声・現状があがってくる→ないところが見えない→どうやって？小さなコミュニティの大切さ。石嶺まち協が俯瞰しているのは素晴らしい！

⑭

- ・ 第3、4日曜くさかり
- ・ 外に出る要因
- ・ 卓球
- ・ 浦添（送迎）
- ・ リュックでかいもの
- ・ 毎日1時間散歩
- ・ 集まり、幼児、アンテナはっている
- ・ パークランド
- ・ 日記
- ・ からだもあたまも健康でいたいという意識を学びたい

⑮

- ・ 自治会のない地域や民生委員さんなどをどうやって補っていくか大事。話内で言えばよく活躍している
- ・ 城東小まち協ではハロウィンやイルミネーション、フードドライブ。今月はHUGゲームも企画しているのでそこで新しい方々となつなれば有意義な会になる
- ・ 民生委員の欠員は深刻。自治会のない空白地域が気になる。元気ですか？のチラシを配布するのは？ボランティア有給事務所による
- ・ 与那原から新聞をみて参加した
- ・ 誰かが誰かを支えるのがなくなった。となりどうしの近所つながりがないので、玄関先のおそうじの時などあいさつをするなど
- ・ 親子共働きなのでどういうふうに関連するか大事

⑯

- ・ 孤立
- ・ あいまいさ、ゆるさ
- ・ 可視化できていない
- ・ 情報
- ・ コーディネート
- ・ 望んでいること
- ・ 変化
- ・ 努力している
- ・ 取り組み感じる
- ・ 参加者
- ・ 熱いメモ
- ・ 登録している
- ・ 那覇市
- ・ 空白
- ・ おじいさん
- ・ 自治会
- ・ アパート若いひと
- ・ つながり
- ・ 高齢者
- ・ 自治会閉鎖的？
- ・ 地主会元々いる
- ・ 新しく



# 石嶺小学校区地域円卓会議 参加者アンケート集計

## ◆概要

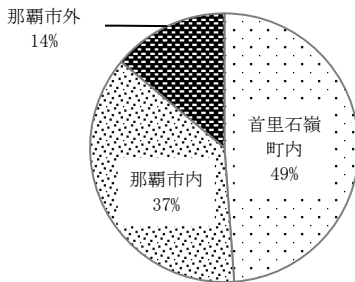
- ・日時：2023年2月4日（土）14:30-17:10
- ・場所：那覇市石嶺公民館 2階ホール
- ・着席者：8名（論点提供者、司会、記録者含む）
- ・参加者：83名（アンケート回収43名、回収率52%）

## 4. 満足度

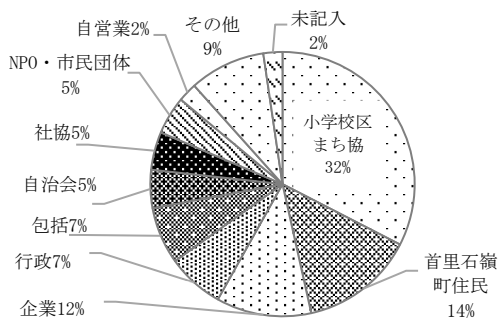
平均：4.6（5点中）

5. 満足	4. 概ね満足	3. 普通	2. あまり満足していない	1. 不満足
27名	15名	1名	0名	0名

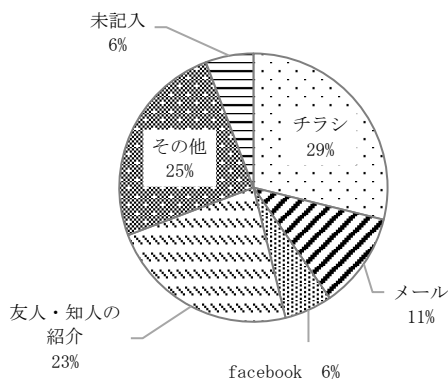
## 1. どちらから？



## 2. 所属



## 3. 円卓会議はどのように知ったか



## 5. 満足度の理由

### (5. 満足)

- ・自分のおかれたポジションでできることをつきつめすぎて、力んでいたことに気づきました。ゆるみをもちつつ、皆さんのお手伝いができることをもっとさがしたいです
- ・地域のことにに関してこんなに关心のある人が多いことを知れた
- ・様々な方がまちづくりにどのような関わり方をしているのか具体的に聞いて、とても良かったです
- ・私達、市営住宅の管理者として何ができるのか、出きることを考えるきっかけになります。
- ・地域における当院の役割を考える機会をえられた
- ・今回はあまり話に挙がらなかったが、防災、または災害時の地域と民間のかかわりを通して、独居高齢者のことを支援していくヒントをえたかった
- ・まちづくり協議会の役割を再認識できたことと、グループワークでは地域にお住いの実態を聞くことができたことは、これからの地域づくりの参考になった
- ・まちづくり協議会の役割や今後のあり方について学ぶことができました。今後の業務に活かせると思います
- ・沢山の参加者がいて良かった
- ・皆さんの感心度がわかり安心しました
- ・取り残しのない地域づくりをめざして頑張りたいです

- ・ 石嶺のことが深く知ることが出来た
- ・ まちづくりや頑張っている人達がいることを知った
- ・ ハイツ会長末吉さんが素晴らしい(元気をみならいたい)
- ・ 地域での活動内容やどのような組織があるのか知る事ができた
- ・ 地域に住んでいる方々と色々な意見を聞く事が出来た
- ・ 地域の独居老人について考えるととても良い機会になりました
- ・ 一つの地域のことを掘り下げて共有していくことの面白さ、大切さを感じました。非常によかった
- ・ たくさんの意見、考え方を聞くことができました。充実した時間でした
- ・ 初めての円卓会議、コメントしやすかった。司会の力かな！楽しかったです
- ・ 意見を出しやすい雰囲気でした
- ・ 母親(独居)の住んでいる地域についてよく把握することができた
- ・ 自身の出身地についてよく把握することができた
- ・ 自身の住まい(宜野湾)の地域まちづくりを考えるキッカケになった
- ・ サブセッションでどんな人達と話できるんだろうとワクワクしています
- ・ わかりやすい
- ・ 司会がうまい
- ・ 参考になりました
- ・ 人が老いていく中でいつかは誰かに頼らないといけない時がきます。コミュニティに入っていくゆるさを持ちたいと思います。
- ・ 石嶺 4 丁目の自治会が少ないのは自覚してはいましたが、他地区に比べると本当に少ないというのを地図で示され驚きをおぼせなかったです
- ・ 内容が良かった
- ・ 地域の暮らしをきかせて頂きました

- ・ 地域での取り組みを知れた
- ・ 住民の意識の高さに感動です

#### (4. 概ね満足)

- ・ 地域の取組、情報を知ることが出来た
- ・ 地域課題の取り組みとして(高齢者の生活困難者の見守り)集りの場所やサークルが多いので見守りができている
- ・ 課題が共有できるし、話しの中からヒントがいっぱいあった
- ・ しかし最終的には私のやる気だ
- ・ きれいに整理してまとめて下さいました。ありがとうございます
- ・ 地域の機関、団体、自治会などが一緒に集い会議を持つ事でたくさんの情報を聞く事が出来、皆で問題を共有出来た事が良かった。
- ・ 孤立問題についてワークショップでさらに詳しく話し合いが出来て交流が深まったと思います
- ・ 石嶺の現状を強みと課題をあらためて理解する事が出来た
- ・ その中で個人として企業として何かしら取り組んで行きたいと感じた
- ・ 石嶺町の事がよく分かった
- ・ 自分の家の所属している自治会(ビレッジ自治会)が協議会になぜ入ってないのかな…?
- ・ テーマ(本当に課題なのか?この地域は活動が充分で課題じゃない)の設定が弱いと思いました
- ・ 石嶺地域の高齢者の孤立に関する課題、行われている取組み、つながり等について知ることができました。
- ・ まちづくり協議会の必要性
- ・ 高齢化を補う
- ・ 他地域の孤立化について少なくとも学んで自分の地域にも生かせたらと…

#### 6. 印象に残った事や良いアイデア

- ・ 今やっている努力、資源、活動そのものを、

もっと自分達でも（表現し）評価することを忘れずに

- ・ つながり続けることの必要性
- ・ 情報の周知について（書面だけではなく、人からの伝達のほうが入っていく）
- ・ 自治会の活動が楽しく自由に行っている点
- ・ 又、社協が買い物支援（車両提供）を知ることができて良かったです
- ・ 孤立と孤独のバランス感
- ・ 企業と地域のバランス感
- ・ 元気（認定を受けていない方）が不利なシーン
- ・ 望んでいない人へコミュニティとしてリーチすべきか
- ・ どの方の話もためになりました
- ・ 自治会単独での役割だけでは少子化によりうけつけない
- ・ まち協が今後必要だと思う
- ・ まち協は民間の参加があり若い人のかかわりは多いことがきたいできる
- ・ 届いてない人にどうアプローチするかという確信的に内容はなかったが、具体的な議論が必要だと感じた
- ・ 地域でやっていること、いい事例を見える化することの大切さを改めて感じました。
- ・ 取りこぼしのないまちづくりをめざしてるのにホットしました
- ・ 櫻井先生の”つながり”努力（頑張っている人）している人の可視化
- ・ 役割分担を考え実践したい
- ・ 「選んでの孤立」「なってしまう孤立」
- ・ 地域の清掃作業や草刈り作業に参加する事により人々を知る事が出来た
- ・ 自分の地域の事は自分で取り組み、みんなで共力することが大事だと感じた。
- ・ ゆるさ、あいまいさのあるコミュニティ
- ・ 力が入り過ぎない関わり方がよい、とても参考になりました。
- ・ いろんな業種とつながっていくこと。そうす

ることであるんな物が見えてくると思う。頑張っている人達や努力している方等を把握し見える化していく、つなげる

- ・ 住宅事情の確認をネタに声かけをしてみるというのは、心のバリアは取れる場合もあるな…と思いました
- ・ 福祉からのアプローチだけではないのですね
- ・ 孤立の捉え方
- ・ 望んでいる孤立
- ・ なってしまった孤立
- ・ 「孤立」と「孤独」の使い方
- ・ つながる事を望む人、望まない人
- ・ つながる事を望んでいるけどつながらない人
- ・ 行政の保完物?!
- ・ できる事、できない事をみきわめ役割分担を、まち協は地域のコーディネーターに！
- ・ 頑張っている人をアシストする
- ・ コミュニティの場所/集い場づくり
- ・ 自治会内の見守り隊を立上げたいと思った
- ・ 自治会の空白をうめるアイデアが出なかった、残念
- ・ 多くの方の意見が聞けてよかった
- ・ 石嶺地域の皆さんがそれぞれの立場で頑張っていることに刺激を受けました
- ・ まずは頑張っていることをねぎらう、とても大切なことだと思います
- ・ 高齢者でも元気に活やく、行動を起こしている方々の地域で努力している活動を見えるかするという言葉が印象に残った
- ・ 行政や社協、包括支援センターなど協力も得ながら地域で暮らす人達が少しでも安心して住みやすい環境になればと思います。
- ・ 専門的な役割、地域の役割、分担して地域づくりが出来るといい
- ・ 連携の重要性
- ・ つながる事の重要性
- ・ つながる事は有るか無いかではなくその細

くてもつながれていられる事や切れない状況をつねに考えておく必要性を感じた

- ・ 自治会の発表（石嶺ハイツ）で自治会で世帯を把握し見守りや行事等を行っている事は孤立、孤独を防ぐ事ができている、自治会の重要性を改めて感じました
- ・ すべて良かったです
- ・ 交番との連携
- ・ 末吉さんの自治会すごいなと思った
- ・ 多くの方々が支えてくださっていることを分かった
- ・ 石嶺2丁目には自治会が少ないとの事、どうしてかな？思いました。（城東小学校区）
- ・ 自治会がない地域のあること、自治会の中の世帯をすべて把握している活動もすばらしいなと思った。広場や集まる場所があれば人は集うのかなと思いました
- ・ 自治会にははいついなくてもそういった場所から人と人がつながることもあるのかなと思いました
- ・ グループで一緒した91才のヤスダさんの「身体も頭も健康でいたい」という思いや考え方を学びたいです。どうしたらこんな考え方ができるのか分析したい
- ・ 独居高齢者、夫婦世帯が予想以上に多いことに驚いた。地域のアプローチがいかにこれらの人に届けられるかは課題。声をかけ続けることが大事
- ・ 拒否されても…あいまいな形でもいいので関係性を保ち続ける
- ・ 頑張っている人をまずたたえる
- ・ 今やれていることを整理してから役割分担を行う
- ・ 声掛け、あいさつが基本
- ・ つながりをも根気よく（身内の方）
- ・ 石嶺地区の住民が地域を良くしようと関心がとても有るんだと学びました。無関心でいることは地域活性化にどうなのかと。私の住む所を考える

- ・ 一がいには比較することは出来ないが
- ・ よく地域として頑張っていてうれしいです

## 7. 会議運営に関しての意見、感想

- ・ とても勉強になりました。ぜひ次回も参加したいです
- ・ 板書が分かりやすく、コツを学びたいと思いました（笑）
- ・ 非常にわかりやすく、スムーズに進行していました
- ・ 久しぶりに参加しました、楽しかったです。ありがとうございます
- ・ 独居の方や高齢者との関わりが多い包括や地域の会合のメンバーがまち協で情報を提供していく体制が強化していければ
- ・ おつかれ様です、さまざまな課題で円卓会議が数多くあるといいな
- ・ 多くの方が参加して自分の住んでいる所を良くしようとする考えをしている事
- ・ 今後も開催して欲しい
- ・ 貴重な話を沢山聞いて良かったです
- ・ とてもよかったです
- ・ 今回の石嶺の「成功事例」として聞いた事はとてもありがたい情報共有、ヒントを頂きました。できましたら「地域として支援者として苦悩している事」なども聞かせて頂けるとうれしいです
- ・ 次回が楽しみ
- ・ 久々に円卓会議に参加させていただきました。多くの皆さんが感心を持たれている。コミュニティづくりはまち協でつないでいく
- ・ 司会のコーディネートか進行がうまくいった、素晴らしかった
- ・ 櫻井先生のお話しがもっと聞きたかった
- ・ 着席者の顔がみえた方がいいと思いました
- ・ コロナ禍の中、ありがとうございます。貴重な時間になりました
- ・ 大変良かったです
- ・ ありがとうございます

- ・ 駐車場の案内もありがとうございます
- ・ 参考になりました。ありがとうございました
- ・ サブセッションは何を言っているのか聞きづらく思いました
- ・ すばらしいです

(写真) 会場の様子









- 親子の関係性も多様  
予の言う事は親はきかぬ

- 突然くる自分の親の介護

- 「ニリク」していき、かわって...

- 家族が「ニリク」しないように  
→ 働いている職場で、介護や育思  
なさいのか？の勉強会みたい  
にして木村ら...のには...  
のなかる仕組みのさかい  
にはなるかな...

- いろんな取組が成功している

- 電気が通って...家で生活している  
お金が入っても散らばってしま

本人は困っている  
「まえるか」は抑えている

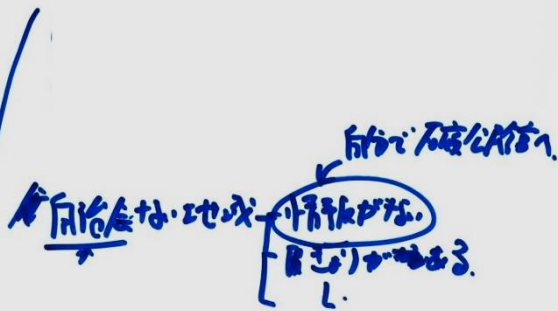
- 拒りよう拒否する人

- 介護拒否する人

→ それに似た家族をのたげると  
一人のまえることのたげにく

家族を支援する方法。(支援)

家族がのたげられてしまつて、本人も  
まえること



4丁目 広まるよ！  
入居-時期同じ、近、保護  
魚は増える

加入率

入居率も増える。  
- 入居率が増える  
月2回 休と休 20% → 行政補助、運営  
(2人、下から...)  
リ・ゲ・ジ・ア

★高齢者の孤立問題とコミュニティづくり  
を考えた。

○自治会が少なくなることにおびるは-

○自治会をなくすために作ることは

ハードルが高い。けど、いろんなこ  
ろに集まる場所がなくなれば、いいかな？

○民生委員、児童委員等の  
確保。

○こじんまりとした集まり、広場とか  
あれば人が集まるのはいい。

○孤立の情報がないと見守りもむずか  
しい。

○近所の小さな単位で、受け入れる  
人もいる。(ふだん外に出てない人など)

- ・ 町が定ない。(草ボウボウ)、草刈り作業を行っている  
田に人との付き合いか出来る様になった。
- ・ 石籠駅の東、西広場の草刈り作業を行っている
- ・ 46歳前に石籠に移って来て、石籠に夢を青少年に旗頭  
をと、地域活動が広がっている コミュニティーから出る
- ・ 坂田は高齢者が60%である。  
理事会の空回りをどの様に、なにか？  
石籠ハイウ自治会が加入率、100%とは、差は  
どの様なのか  
自治会の役割をどの様な、見方をしているか  
若いスタッフ、西原に帰って、報告ある
- ・ 前は自治会活動を行っていたが、子供達が  
大きくなったら、だんだん、自治会活動が  
小さくなっている。  
今は外灯代が集金していない。自治会費  
は集めていない。  
自治会と通り会の違い。

郵便局とのコラボ  
新聞 / 1 戸 → 行いの連絡  
(配達関連) + ラインとの連携  
↳ それ以外は... 民生不足

スーパーコンビニで、ET活用  
カード、2付は...!





# 那覇市 R4 コロナ対応まちづくり協働力アップ事業

## 石嶺小学校区 地域円卓会議

地域の困りごと社会課題を共有・共感する場

2023.2.4 (土)  
14:30~17:10  
◎石嶺公民館 2F  
ホール

**テーマ**  
石嶺小学校区における  
高齢者の孤立問題と  
コミュニティのあり方を  
考える

共催 石嶺小学校区まちづくり協議会, 那覇市まちづくり協働推進課  
企画運営 NPO法人まちなか研究所ゆくわく 協力 (公財)みらいファンド沖縄

## 論点提供

**玉那覇 善秀** さん  
石嶺小学校区まちづくり協議会 会長

市内2番目 11年目

**石嶺小学校区**

福祉・医療施設 79い

石嶺3丁目  
" 4丁目

開会あいさつ

屋比久 さん (まちづくり協働推進課) 課長  
80名もこえる参加  
15の小学校区まち協、あり方を話しあっている  
さごまで、今日はよろしくお願ひします。

1) 石嶺小学校区の概況

- 1960年代半ばの石嶺町中核部、1972年の那覇市立高嶺小学校(現高嶺南小学校)により、石嶺小学校区が誕生
- 1979年、那覇市立石嶺小学校、石嶺公民館開設
- 2019年の4月1日に石嶺町の隣町にちなみ「アイーナ」として再編合併も想定
- 石嶺小学校は、2021年現在児童数644人と那覇市内で最大

石嶺小学校区まちづくり協議会

地域の情報共有

運営体制

1) 石嶺小学校区の概況 (人口等統計)

項目	人口	世帯数	高齢者人口 (65歳以上)	高齢者率 (%)	高齢者世帯数	高齢者世帯率 (%)
総計	12,837	4,796	4,796	37.4%	1,200	25.0%
世帯別	21,626	8,300	3,687	44.4%	3,814	45.9%
世帯別	1,700	5	1,695	99.7%	5	100%
世帯別	3,962	12	2,449	61.8%	3,971	100%
世帯別	1,688	7	1,458	86.3%	7	100%
世帯別	3,149	27	3,346	106.3%	3,136	99.6%
世帯別	12,837	34	4,796	37.4%	3,108	91.4%

三・四丁目  
人口  
12,837人



世帯  
4,796

自治会空白エリアが多くを占める!

独居高齢  
470世帯

- たんぽぽ通り自治会
- 約120世帯
- 高齢者70%~
- 免許返納 → 買い物・通院不便
- 認知症 → 道まよい
- 災害時の不安
- 自治会のないエリアの状況がみえない

1) 石嶺小学校区の概況 (人口等統計)

項目	人口	世帯数	高齢者人口 (65歳以上)	高齢者率 (%)	高齢者世帯数	高齢者世帯率 (%)
総計	18,481	7,206	6,206	33.6%	1,999	27.7%
世帯別	8,271	3,291	2,376	28.7%	962	29.2%
世帯別	1,063	5	1,058	99.5%	5	100%
世帯別	2,444	1,011	753	30.8%	309	30.5%
世帯別	1,445	946	392	27.1%	183	19.4%
世帯別	3,321	2,154	332	10.0%	297	13.8%
世帯別	12,837	4,766	3,102	24.2%	1,747	36.7%

1) 石嶺小学校区の概況 (人口等統計)

項目	人口	世帯数	高齢者人口 (65歳以上)	高齢者率 (%)	高齢者世帯数	高齢者世帯率 (%)
総計	184,011	53,736	74,012	40.2%	15,000	28.1%
世帯別	8,271	3,291	2,376	28.7%	962	29.2%
世帯別	1,063	5	1,058	99.5%	5	100%
世帯別	2,444	1,011	753	30.8%	309	30.5%
世帯別	1,445	946	392	27.1%	183	19.4%
世帯別	3,321	2,154	332	10.0%	297	13.8%
世帯別	12,837	4,766	3,102	24.2%	1,747	36.7%

桃原千佳 さん

- 65才~総合相談窓口
  - 交番長との情報共有会キ (月回)
    - 保ご・認知症の方など
    - 名前いえばすぐわかる方も
  - 自主サークル ゆいまる会
    - 5つのサークル立ち上がっている
- 銀行・郵便局の窓口で  
気になる方の連絡 → 訪問

石嶺圏域における、石嶺町234丁目の介護認定者数は、令和4年4月現在、944人である。高齢者数のうち介護認定者数の割合は19.2% (郡門市20.5%)となっている。(資料:石嶺町)

区分	世帯数	高齢者数	介護認定者数	割合 (%)
石嶺町	15,742	919	1,668	18.1%
郡門市	944	42	82	19.2%

介護認定者数に占める認知症高齢者の割合は高く、自立度Ⅱ以上の割合は83.9% (郡門市56.9%)となっている。特養施設がないことが関係していると思われる。(資料:石嶺町)

区分	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ
石嶺町	1,288	3,682	2,827	2,580	2,755	242	531	8
郡門市	68	191	171	157	193	17	60	1

- 高齢者  
コロナでサークル行けない  
→ 認定うける方が増えている  
地域で集まる  
→ 送ばい → 介ご保険  
→ 歩いて行けると3のサークルがあれば 4丁目とくになっ

石嶺圏域の石嶺234丁目の人口は18,763人(2022年(令和4年4月現在))である。高齢者は4,904人で、高齢化率は26.1%。郡門市全体の高齢化率は24.2%より高くなっている。(資料:石嶺町)

区分	人口	0-64	65歳以上	75歳以上	高齢化率 (%)
郡門市	317,191	240,485	39,956	36,750	24.2%
石嶺町	18,763	13,849	2,360	2,544	26.1%
2丁目	6,076	4,287	878	911	29.3%
3丁目	3,727	2,711	467	549	26.7%
4丁目	8,950	6,851	1,015	1,084	23.4%

団地  
↓  
包括ケアまで

○ヶ月に1回訪問

相談協力員に訪問お願い

電気きれている。

家の中がゴミでたいへんなこと

センター内で共有 → ご家族と  
作戦会キ

気になる人 ⇒ 誰にまかせるか。

(孤立) どの制度につながるか

りに介入するとキョヒにつながる

つなく 必死につなく

## 末吉ヒサ子 さん

首里石崖ハイッ自治会

106歳帯  
こい

50年前頃から入居

加入 100%

新しい方  
少し入ってきて

子ども通してつな  
がった。

もあつ。(夜も昼も)

子ども会  
婦人会  
解散

見守り隊が主

43人を毎月まわっている

水・木

社協・包括  
もいっしょに

独居の方

→ しんぶんたまっていたり

→ 4ヶ月と連絡とっている

## 野原祐樹 さん

那覇市社会福祉協会の

地域見守り隊 (2つ)

石崖団地自治会

自治会集金時に見守り

会キで情報共有

首里石崖ハイッ自治会

訪問型

まちかど便の存在知らない方も

情報の周知の課題

免許の返納 → 買い物困難

おたがいさま物動支援

→ 集まりが1番で、買い物2番

## ペンタス花の会

ウォーキング&ラジオ体操

5:30 ~ ウォーキング

6:30 ~ ラジオ体操

声かけから  
スタート

石崖駅にて

つどい型



# 宮元聡志 さん

イナフジ株式会社 / 石塚中枝区青柳協

- 子どもたちの見守り 石塚4丁目在住
- 家庭の環境 親ごさ. 将来の不安
- 賃貸
- グループホーム / ケアハウス  
（古いあわせが多い（県外より））
- 牧志で契約事例
- 石塚はこたて住宅多い
- レポート あいてるところ 築年数
- ニーズは高い.



# 櫻井常矢

高崎経済大学

(7)

高齢化 地域をとじる.

中国地方 → 集落たたみ

まちづくり協議会

6500くらい  
全国にある  
1700市町村  
の半分くらい

高齢化対策

地域の力がおちつく

補う. 補完する.

ふえている.

しくみが必要

那いこそ.

全体をながめる.

ふかんする組織

市民独自の活動ある

つながってない. つなぐ役割

## まちづくり協ギ会

くらしを支える

地域の課題を解決する

高齢者・孤立

地域の課題のとらえ方

地域の中の頑張っていること

でいねいにあぶり出す.

そこからみえてくる課題がある

今後  
のぞむところ

望んでない人へ  
コミュニティとしてリッチ  
な仕組みか

リッチな仕組み

あんなに  
のぞむコミュニティ

## 役割分担

(8)

地域

専門職

行政

住民だからできること

ベンチとおく → 人が集っている.

## サブセッション

声かけ  
あつ

卓裁・グラウンド  
ゴルフ  
草かつ 日記

自らがかりを  
もっていた  
ヒントになる.

努力たくさん  
あることわかった  
でも孤立している人  
に届いてないかも



つながっていない人と  
つながること。

母親からの  
相談

また  
ゴミ屋敷

こはまれても  
相談あっても  
ねばり強く

(住み)キョ  
しては

年をかさねる  
と必要とす

じとひらく

ゆるく  
つながり  
つづける

包括社協  
をたよる

困りに  
もらっていた  
オリ山  
おもしろ

集会所  
で

勉強会で  
話しを聞いて

ちょっと  
困り始めた

その人を  
支援してくる  
人をさがす

家族からの  
相談が多い

今が  
そのタイミング

ねざらう

毎月の  
会費の中で

自治会役員  
みなが決めた

企業人として

かすか

売るか

こたて  
住宅が多い

孤立して

所有者

たうどうつながる?

隣地  
の方

身内の方

イベントなどで  
かしてくれなっか

固執をつくる

地域の不動産  
課題

福祉と  
つながる  
ことの意味

石嶺小校区まち協

今あるとりにみをすすめて

自分で解決... 力むこと(あまりよくな)

孤立している人 ↔ しいな

専門職とつながる

わかることを  
追求する。

つながること( )

いまは

今日、参加された皆さん

高齢者の問題の関心高い

司会

石嶺のとりにみ、ポジティブ評価

地域でも評価していく

総量わからないこともポジティブに

ちやんと解散させて→役割をかえている

新しい資源とつながりつづける

ポジティブにあいさせをとうえる

まちは生きもの